

## > ファイナンシャルハイライト(平成24事業年度)

	'12/3 (H24/3)	'13/3 (H25/3)	増減(前年比)
資産	103,568	<b>108,181</b>	4,612
負債	40,561	<b>44,497</b>	3,936
純資産	63,007	<b>63,683</b>	676
費用	36,913	<b>37,979</b>	1,066
収益	36,893	<b>37,628</b>	734
運営費交付金収益	11,131	<b>10,685</b>	△ 445
授業料等収益	5,257	<b>5,113</b>	△ 144
附属病院収益	15,615	<b>16,339</b>	724
受託・寄附金等収益	2,186	<b>2,015</b>	△ 170
その他	2,702	<b>3,474</b>	771
当期総利益	△ 19	<b>△ 350</b>	△ 331
業務活動によるキャッシュ・フロー	4,007	<b>3,890</b>	△ 116
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 4,706	<b>△ 3,177</b>	1,528
財務活動によるキャッシュ・フロー	689	<b>△ 910</b>	△ 1,600
資金期末残高	1,030	<b>832</b>	△ 197
国立大学法人等業務実施コスト	15,385	<b>15,061</b>	△ 323

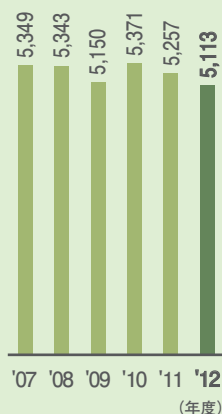
注) 百万円未満を切り捨てているため、合計額が一致しない場合があります。  
詳細については、後の「ファイナンシャルレビュー」を参照ください。

財政状態については、補助金の獲得により有機エレクトロニクスイノベーションセンターを設置し、施設整備費補助金等により工学部、医学部の施設の改修工事等を行ったことや、借入金により附属病院再整備事業を推進したことにより、資産が約46億円、負債が約39億円増加しています。

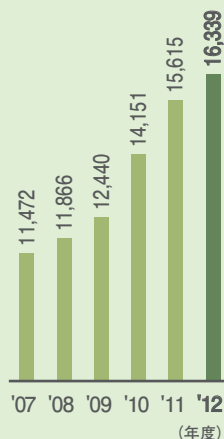
運営状況については、補正予算による運営費交付金の減（給与カット相当分）等の影響により運営費交付金収益が約4億円減少しており、また、附属病院において、患者数の増及び手術件数の増等により、附属病院収益が約7億円増加しています。一方で、建物の建設及び改修に伴う臨時的支出などもあり、経常ベースで約2億円の損失を計上しています。

さらに、建物等固定資産の除却損等を計上し、最終的に平成24事業年度は3億5千万円の当期総損失となっています。

授業料等収益  
(百万円)



附属病院収益  
(百万円)



受託・寄附金等収益  
(百万円)

